

令和5年度 いのちの授業 事例集（特別支援学校）【社会】

掲載数

3

管轄	学年	教科等	テーマ	内容	参考事項（講師・教材等）
1 神奈川県	高2	社会	防災	自然災害にはどのようなものがあるのかを知り、どんなことが起きるのかを調べ、発表しあった。ハザードマップを用いて通学している学校や宿泊学習で泊まった施設、自分の住んでいる家が災害にあったときにどのような危険があるのかについて調べ、話し合い、発表を行った。実際に非常食も喫食した。危険について考え、いのちを守るために日ごろからできることについて学ぶことができた。	
2 神奈川県	高2	社会	災害時の生活をイメージしよう。	台風や地震等自然災害の映像を見て、災害時どうすればよいか考えた。避難所での生活の映像を見ること、非常食の喫食体験を行うことで、災害が起きたらどうやって生活することになるのかイメージを深めた。	自然災害を体験するために、2月に神奈川県立防災センターへの校外学習を計画している。
3 神奈川県	高2	社会	防災教育DIG 防災図上訓練 ～「もしも」に備えよう～	①ハザードマップの作成 秦野駅から秦野支援学校までの通学経路の中で白地図を使って、避難場所の確認を行った。経路周辺に避難場所は三か所あり、生徒によっては「3箇所しかないのか・・・」「3箇所もある」など様々な意見が出た。また避難場所によって整備の違いがあることにも気づくことができた。 ②危険個所を探す 神奈川病院のバス停から秦野支援学校まで危険が予想される箇所を探しハザードマップを作成し自分たちで危険である理由を考え発表をすることができた。	秦野市のハザードマップを使用したことで具体的なイメージが持てた。 青少年赤十字防災教育プログラムよりDVDを視聴した。